

発行所
 伊那市荒井
 3500-1-401
 上伊那教育会館内
 長野県教職員組合
 上伊那支部
 編集発行人
 田中 孝弘

上伊那支部情宣

2019年
 8月27日
 第11号
 職場掲示

支部ホームページ <http://www.kamiina.jp/sub-domain/ntuhp/wordpress>
 組合員用 パスワード : ntu2453

震災から8年 被災地の復興を願う ～南三陸町立 旧戸倉中学校訪問～



津波で校舎3階に車が運ばれた旧日向洋高校



公民館として残されてる旧戸倉中学校



旧戸倉中の校舎2階から感じる津波の高さ



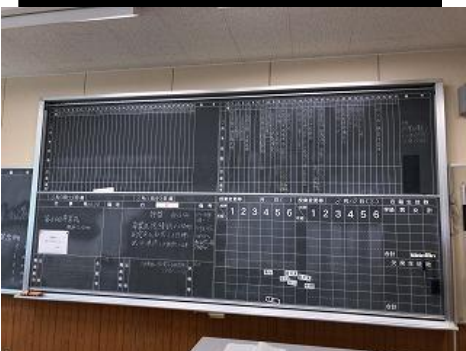
上伊那で集まった義援金を贈呈



津波に襲われた体育館ロビー



壁も天井も柱も無残に(体育館ロビー)



22.6メートル

高台に位置する旧戸倉
 中学校1階の職員室。
 ここまで水に浸かりま
 した。



8月3日(土)に、気仙沼市にある東日本大震災遺構・伝承館を見学し、4日(日)には南三陸町立旧戸倉中学校を訪問してきました。上伊那支部では、平成24年度に宮城県教組を通じ、戸倉中学校で行ったボランティア活動をきっかけに、毎年、支援活動を続けてきています。現地では、当時戸倉中学校の校長先生でいらっしやった小野寺由美子先生より震災時のお話を聞くことができ、自然災害の恐ろしさや生徒一人ひとりが考え判断し行動したおかげで救われた命があったことなど、当時の様子を詳しく話してくださいました。

また、上伊那支部定期大会(5月)や教育講演会(7月)を行った際に、みなさんからお寄せいただいた義援金を南三陸町教育委員会へお渡ししてきました。みなさんご協力ありがとうございました。

上伊那支部では、これからも南三陸町とのつながりを大切に、一刻も早い復興を願って今後も支援活動を継続していきたいと思っております。

歴史は未来の教師になる!!

～第37回 反核・反戦・平和のつどい～



伊藤執行委員長あいさつ



実践発表 小坂美智男先生 (高遠中)



実践発表 高木政志先生(伊那小)



各職場から集まった「平和へのメッセージ」



小山先生のギターによる「わがい」斉唱



アピール文朗読 青年部松下先生



講演 矢澤静二先生 (元上伊那教育会長)

8月6日(火)に上伊那教育会館講堂にて、「第37回 反核・反戦・平和のつどい」が開催されました。終戦から74回目の夏を迎える今年は、講師に矢澤静二先生(元上伊那教育会長)をお迎えし「上伊那における二・四(教員赤化)事件」と題してご講演をいただきました。一人の日記を読み解くことで、これまで明るみになっていなかった上伊那の歴史を知ることができたり、『悪意のない一生懸命』の裏にあったものを教えていただいたりして、歴史を知ることの重要性を改めて感じながら、平和を守りたいという強い思いをみなさんと共有できたように思います。

【参会者の感想から】

- 教員赤化事件の裏や、満蒙への青少年動員の背景を改めて知ることができて良かった。大きな圧力がやってくる中で、自分の思いを通して生きることがいかに大変か、人間の歴史の中でそんなに昔ではない事実のリアルな報告をお聞きできて、思うことがたくさんありました。
- “平和について考えるということは戦争について知る”ということだと思った。しかし、戦争体験者の声を聞ける機会が少なくなっている。時間を作って戦争や平和について考えなければならないが、その時間が確保できない。だからこそ、この『反核・反戦・平和のつどい』は貴重な機会だと思いました。